

3R・気候変動検定 自治体担当者向け講習会 2025 気候変動コース 受講・学習資料

2025年5月23日13:30～
一般社団法人持続可能環境センター

<https://3r-cc.jp/>

講師：総合地球環境学研究所教授 浅利美鈴

1. いまなぜカーボンニュートラル・持続可能社会なのか

- 深刻さを増す気候変動(気候危機)
- 世界の動向
- プラネタリー・バウンダリー

2. 持続可能社会の基礎知識(気候変動との関連を中心に)

- 持続可能社会の原則
- サステイナブルをめざす国際議論
- SDGs
- 環境問題
- オゾン層破壊と気候変動
- 生物多様性
- エコライフの基本
- ライフサイクルアセスメント(LCA)
- ESG 投資

3. 気候変動問題の基礎知識

- 気候変動問題
- 気候変動枠組み条約、パリ協定
- IPCC
- 地球温暖化のメカニズム
- 温室効果ガスと国別比較、1.5℃目標
- 適応策

- 温室効果ガス排出量
- 化石燃料
- 再生可能エネルギー

- 家庭のエネルギー消費
- 家庭でできる気候変動対策
- 省エネ機器と省エネラベル

- 事業者の排出実態と有効な対策
- 排出量情報の公開
- カーボンフットプリント

- ゼロカーボンに向けた法律・政策
- 地球温暖化対策計画
- 税制・GX 推進法

4. 気候変動対策に関する自治体担当者の役割

- 持続可能社会を視野に入れた行政計画策定のポイント
- 日常業務での対応
- 市民・事業者への啓発
- 地方自治体が政策を作ってきた歴史

5. 次のステップに向けて

第 18 回 3R・気候変動検定 <https://3r-cc.jp/>

2025 年 11 月 16 日(日) 午前:3R 部門、午後:気候変動部門(いずれか一方の受験も可能)

2025 年 8 月 1 日から受付開始予定

会場受検もしくはオンライン受検

運営主体:一般社団法人持続可能環境センター / 法人事務はゼロカーボン(Scopel,Scope2)で運営しています。

※講習内容は、「3R・気候変動検定公式テキスト」(ミネルヴァ書房,2024 年刊、全 20 章 155 節)からの、主要な部分の解説になります。